

動物と人がともに暮らせる社会をめざして

～9月20日から26日は「動物愛護週間」です～

犬や猫などの動物は、人間のパートナーとして生活に癒しをあたえてくれます。しかし、飼い方のマナーを守らないと近隣トラブルの原因にもなりかねません。この機会に、ルールやマナーについて、もう一度考えてみましょう。

問 環境防災課 ☎84-0314

人も動物も快適に暮らすために

ペットの「もしも」の備え、していますか？

●トイレのマナーを守ろう
散歩の際にしたふんは、必ず持ち帰り、尿についても水で流すなどの配慮を忘れないようにしましょう。

●迷子にならないために！
交通事故に遭う猫が後を絶ちません。そのほとんどが首輪や迷子札がなく、身元の分からない猫です。交通事故や感染症を防ぐため、室内環境を整え、屋内で飼いましょう。外で飼う場合は、首輪や迷子札を付け、飼主を明らかにしましょう。

●周囲の人への気配りも忘れずに
動物が苦手な方もいます。自分では気にならなくても、他の方は迷惑に感じていることがあるかもしれません。周囲の人や環境に気を配りましょう。

災害が起こったときに最初に行うことは、もちろん飼主自身や家族の安全確保ですが、ペットの安全確保についても普段から備えておく必要があります。

災害時にペットを連れて避難した場合に、ペットが無事に過ごせるよう日頃から準備や心構えをしておきましょう。

① 安否確認

まずは、飼主が無事であること。飼主が無事でなければペットを守る人がいなくなってしまいます。



② 避難準備

次に、ペットの安全確保・避難準備。普段はおとなしいペットも混乱した中では、人に害を及ぼすこともあります。リードで繋ぐなど、はぐれないように気を付けましょう。

③ 避難

避難所には動物が苦手な方やアレルギーをもった方もいます。避難所にたどり着いてもペットと一緒に生活できるとは限りません。必ず、管理者の指示に従いましょう。

ペットのための持ち出し袋をつくりましょう

用意しておきたい備蓄品

- ☐ ペットフードや水(7日分以上が望ましい)
- ☐ 食器
- ☐ トイレシート・ビニール袋や新聞紙など
- ☐ 慣れているタオルやぬいぐるみ等
- ☐ 常備薬
- ☐ ケージ、リードやハーネスなど
- ☐ ペットと一緒に写っている写真
- ☐ ペットに関する記録(予防接種や手術履歴など)
- ☐ 愛犬手帳



犬・猫別の健康管理としつけ

猫の場合

- ☐ ケージの中に入ること
- ☐ 嫌がらない
- ☐ 不用意に鳴かない
- ☐ 人や他の動物を怖がらない
- ☐ 猫用トイレでの排泄
- ☐ 各種ワクチン接種
- ☐ 寄生虫の予防、駆除

犬の場合

- ☐ 「待て」「お座り」「伏せ」などの基本的なしつけ
- ☐ ケージの中に入ること
- ☐ 嫌がらない
- ☐ 不用意に吠えない
- ☐ 人を怖がったり攻撃的にならない
- ☐ 決められた場所での排泄
- ☐ 狂犬病予防注射と各種ワクチン接種
- ☐ 犬フィラリア症など寄生虫の予防、駆除

健康管理としつけ
突然の災害は、人にも動物にも大きなストレスがかかります。さらに避難生活では体調を崩しがちです。普段から健康状態に注意し、動物の体を清潔に保ち、予防接種やノミなどの駆除をしっかり行いましょう。

もしもに備える！

感震ブレーカー、ご存知ですか？

どの家庭にも起こりうる「通電火災」

地域で取り組む

問 環境防災課 ☎84-0314

大地震が発生した場合に想定される被害として、「通電火災」が挙げられます。通電火災は、地震による停電から復旧する際、電源が入った家電製品や落下物で断線したケーブルに通電して発生する火災のことです。

阪神・淡路大震災や東日本大震災で発生した火災の約6割が通電火災であったとされています。

通電火災の被害を防ぐ方法として、感震ブレーカーが有効な手段のひとつです。

感震ブレーカーとは

感震ブレーカーとは、地震発生時など強い揺れを感じると自動的に配線用ブレーカーや漏電ブレーカーを落として、電気の供給を止めるものです。

▼感震ブレーカーの仕組み



ブレーカーにおもりをつける



地震発生！

おもりが落ち、ブレーカーが落ちる

▼通電火災の事例



はなく、隣近所に燃え広がり、地域単位で延焼する可能性があります。町では、自治会単位での減災対策として「感震ブレーカー設置推進事業」を実施します。この事業は、自治会と協働して、各家庭への感震ブレーカーの設置を推進するものです。

現在、自治会の防災部長を中心に、話し合いを進めています。詳細が決定しましたら、町広報紙や自治会を通してお知らせします。

9月10日は「下水道の日」

下水道 水も地球もリフレッシュ

公共下水道への早期接続を

下水道は、皆さんの快適な生活を確保し、河川、湖、海などの水質汚染の防止に重要な役割を果たしています。浄化槽から出る排水が、小水路や道路側溝に流れると悪臭や蚊・ハエなどの害虫の発生につながりますので、下水道への早期接続をお願いします。

工事費用の融資・貸付制度

町では、下水道の接続工事をされる方に対し、工事費用の融資(無利子)の貸付をしています。詳しくは、上下水道課へお問い合わせください。

※融資・貸付制度の利用には一定の要件があります。

「下水道ふれあいまつり」

普段、見ることができない下水処理場の見学や水質実験を体験できる下水道学習室が開催されます。

ぜひ、お越しください！

日時 平成29年10月28日(土)

午前10時～午後3時

場所 扇町しらさぎ広場

(小田原市扇町六丁目819番地)

問合せ先 (公財)神奈川県下水道公社

総務部企画課

☎0463-55-7438